令和8年度第1回　運営推進会議開催状況報告書

事業所名	地域密着型介護老人福祉施設「赤煉瓦の郷」
開催日時	令和 8 年 4 月 21 日（ 火 ） 14 時 00 分 ～ 14 時 25 分
開催場所	赤煉瓦の郷相談室（近江八幡市船木町59番地3）
参加者	地域住民代表者 1 名　事業所職員 2 名 利用者（家族）代表者 1 名　知見者、民生委員等 1 名 行政職員 1 名　その他（　　） 名
議題	1. 施設長からの状況報告 2. 入居者数の現況報告 3. ユニット活動の状況報告 4. 提言・要望・質問等 5. 今後の開催について

会　議　録

1. 施設長からの状況報告
・他の業務のため会議は欠席

2. 入居者数の現況報告
・定員20床のうち在籍18名。（男性4名、女性14名）
・平均要介護度は3. 2。
　内訳は、介護度1（2名）、介護度2（0名）、介護度3（11名）、介護度4（3名）、介護度5（2名）。
・平均年齢は92. 1歳。
　内訳は、85～89歳（6名）、90歳以上（12名）。

3. ユニット活動の状況報告
・レクリエーション等の取り組みについて
・ご利用者の状況について
・職員研修について
・アクシデント・ヒヤリハット報告について
　※別紙資料により説明

4. 提言・要望
・地域住民代表：アクシ・ヒヤリ報告の転倒5件というのは、全て同じ方ですか？
　↳職員：2名の方の合計数です。別の方を排泄介助中に椅子から立たれるなどされて起こっていますので、他ホールからの応援見守り体制の強化をしています。
・民生委員：尿路感染の研修をされたとの事ですが、その発症者はやはり女性が多いですか？
　↳職員：当ユニットにおいては男性が多いです。特にトイレで排泄出来ていた方がおむつ対応に変わった直後などのタイミングですね。
・行政職員：虐待や、アクシ・ヒヤリ報告にあったエスケープなどについては日頃から気をつけていただくように、今後ともよろしくお願いいたします。

5. 今後の開催について（原則2ヶ月に1回は定期的に開催。）
　・次回開催予定日　6月16日（火）　14：00

令和８年４月２１日開催　地域密着型運営推進会議　資料

（会議日現在　ご利用者数　単位：名）

１．入所状況報告（定員：２０床）

	現在	（男性）	（女性）	←	前回
利用者数	１８	（４）	（１４）		１９

※前会議から本日までの入退所者数

入所２名・・・３月９日（男性）、３月２４日（女性）

退所３名・・・３月２１日（男性）、４月５日（男性）、４月２１日（女性）

２．要介護度別（平均要介護度：３．２）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
要介護度　１	２	（１）	（１）		１
要介護度　２	０	（０）	（０）		０
要介護度　３	１１	（３）	（８）		１２
要介護度　４	３	（０）	（３）		５
要介護度　５	２	（０）	（２）		１
その他（申請中等）	０	（０）	（０）		０
計	１８	（４）	（１４）		１９

３．年齢別（平均年齢：９２．１歳）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
７０歳～７４歳	０	（０）	（０）		０
７５歳～７９歳	０	（０）	（０）		０
８０歳～８４歳	０	（０）	（０）		０
８５歳～８９歳	６	（３）	（３）		８
９０歳～	１２	（１）	（１１）		１１
計	１８	（４）	（１４）		１９

運営推進会議（令和８年４月21日開催）

ユニット　エメラルド・ダイヤモンド

1，ユニットでの取り組み

・ユニットレクリエーション

3/4　お掃除ゲームレク（13時半～15時）

4/10　タケノコほりゲームレク（13時半～15時）

・PTmateにて理学療法士からのオンラインによる連絡・相談を３月に実施。

３名の利用者様について、写真・動画を通して個別機能訓練の内容を提案して頂く。

2，入所者様について

・インフルエンザ・コロナなどの感染症はユニット内では発生しておりません。

ホームでは風邪症状の流行が見られる為、一時的にホーム～ユニット間のドア施錠を終日対応にさせて頂いています。

・日中の寒暖差が大きいことにより、一時的な発熱が見られた方はおられました。

・4/17より入居所様１名が看取り開始しています。→ 相利明死れ.

3，職員研修

・施設全体として、尿路感染による発熱者が多く見られました。

そのため陰洗研修を実施し、陰部を清潔な状態に保つ取り組みを進めています。

4，アクシデント・ヒヤリハット報告（2/18～4/21）

・内出血：２件　↳ 今回はなし.

・転倒：５件

・エスケープ：１件　[illegible]

対策

内出血については、入居者様の爪が伸びていることが多い傾向にある為、入浴後に爪の確認、爪切りの実施を行うように周知しています。

転倒につきましては、同じ方の転倒が続いているため、職員が少ない時間の対応について業務の見直しを行っています。

転倒されやすい時間にコールが重なりやすいため、エメラルドとダイヤモンドの職員が連携して対応できるように声掛けを行っています。

新規入所された方々は自立度が高いこともあり、今後エスケープのリスクは高くなっています。

居室の配置の見直しや見守り体制の見直しを行い、対策を取らせて頂きます。